

ボ ン ジ ュ ー ル

Bonjour!



デュオ旭爪姉妹友の会 2009年10月17日発行

〒738-0060 広島県廿日市市陽光台 5-9

アマノリハビリテーション病院内

☎info@hinotsume-shimai.jp

http://www.hinotsume-shimai.jp/fanclub/

ボンジュール (フランス語) :

朝から夕方までの挨拶(あいさつ)の言葉。「こんにちは」「おはよう」



— デュオ旭爪姉妹 — フランスの思い出 Vol.2



シリーズ第二回目となる今回は、フランスの音楽院の様子や、語学、パリ生活などについてお聞きしてみました。

Q. フランスの音楽院の様子など教えていただけますか？

A. 裕美子さん

私の通っていた音楽院は、フランス人の学生がほとんどだったのですが、レッスンの時、まだまだ充分に弾けていないような状態であっても、先生と対等に議論し、自分達の意見をはっきりと伝えていることに、初めはびっくりしました。フランスでは、レッスンに限らず、自分の意見や権利を主張するの

で、それができないと理解してもらえないということに、慣れるまでは戸惑いました。ただ自分の考えを率直に表現するということは、演奏する上でも、とても大事なことだと思うので、良い勉強になったと思います。

A. 千恵さん

私の音楽院の方は、フランス人の方以外にロシアや東欧、中東、アジアなど様々な国の方が在籍されていました。アンサンブルの授業では、その方達と一緒に演奏することもあり、音楽を通して交流を深め、それぞれの国の文化に触れることができました。お互いに留学生ということもあって、会話も弾みました。

また音楽院での試験は、1次予選に通過した後も、本試験の為に沢山の曲を用意し、試験当日に曲目を指定されるなど、試験というよりはコンクールのような感じで、日本とは随分違っていたので、初めはそのシステムに驚きました。

Q. 外国生活で一番大変なことは、やはり言葉の違いだと思いますが、どのように勉強されましたか？

A. 裕美子さん

私の場合は、急に留学することが決まったので、フランス語を勉強する間もなく渡仏し、非常に苦労しました。日常会話には、少しずつ慣れていきましたが、私の音楽院の先生は、英語を全く話されなかったもので、速いテンポのフランス語についていけず、大変でした。慣れるまでは、レッスンを録音し、帰ってから何回も繰り返し聴くなどして単語を覚えていきました。

A. 千恵さん

私は姉より半年早く渡仏していたので、音楽院に入学するまでの何ヶ月か、語学学校に通いました。ただフランス語は初歩の初歩のような段階の時に、銀行口座の開設や滞在許可証の申請など、難しい手続きばかりで、なかなか思うようにはいかず、気持ちばかり焦りました。そんな時知人に、テレビのアニメーションは、分かり易い言葉を使っているのだから聞き取り易く勉強になると勧められ、テレビを見て、分からない言葉があれば書き取って、辞書で調べるなどして、勉強しました。少し経ってからは、フランス人の先生に個人レッスンを受けることになったのですが、先生が、「私もヴァイオリンを習いたいので、エシヤンジェ(交換授業)をしませんか?」と言って下さり、私がヴァイオリンを、先生がフランス語を教えて下さることになりました。その先生には、本当に親切にして頂き感謝しています。

Q. お二人はパリにお住まいでしたが、音楽院などにはどのようにして通われていたのでしょうか？

A. 裕美子さん

パリは地下鉄の路線が充実しているので、ほとんどメトロ(地下鉄)を利用していました。慣れてきた頃、バスだとパリの町並みを見ながら移動ができるという良さに気が付いて、時間がある時には、出来るだけバスを利用するようになりました。(地理を把握していないと、降りる所を迷ってしまうかもしれませんが、パリの観光にはオススメです。)

A. 千恵さん

地下鉄やバスでの思い出としては、フランスではストライキが多いので、ストがあると場合によっては何日も交通機関が動かなくなってしまい、真冬の凍えそうな時に、学校の試験に行かなくてはいけなくて、姉と二人、震えながら何kmもの道を歩いて行ったことがありました。今では良い思い出です。(笑)

Q. 日曜日など、学校がお休みの日にはどんな所に行かれましたか？

A. 裕美子さん・千恵さん

二人とも絵画鑑賞が趣味なので、日曜日ごとに、美術館巡りをしていました。美術館以外では、教会や公園巡りも良くしましたが、パリには名所が数多くあるので、留学中には行き尽くせないほどでした。また、フランスでは日曜日の朝に必ずコンサートがあり、よく二人で聴きに行っていました。

有難うございました。フランスに行った時は、美術館に是非行ってみたいですね。

フランス～姉妹のお気に入りスポット①～
チュイルリー公園

パリ：1区 メトロ①番線 Tuileries 下車
ルーブル美術館を観た後、チュイルリー公園のベンチでゆっくりと過ごすのがオススメです！



ルーブル美術館から見たチュイルリー公園

(__Bonjour!vol. 5 に続く)



= 楽器ミニ知識 vol.2 =

ヴァイオリンの弦は何でできているの？

以前キッズコンサートで、「ヴァイオリンの弓の毛は何でできているのでしょうか？」と質問すると、沢山の子供さん達が手を挙げて、「馬のしっぽ！」と元気に答えてくれました。

弓の毛については、このように話題になることが多いのですが、「じゃあ、ヴァイオリンの弦は何で出来ているのだろうか？」と思われる方も多いことと思います。ヴァイオリンの弦には、ガット弦、金属弦、ナイロン弦などの種類があります。その中でもガット弦は、羊の腸から作られており、現在は、保護の為、弦を銀やアルミで巻いています。他に比べ値段も高価ですが、音色は柔らかくて上品です。ただ温湿度に敏感なので音が狂い易いという欠点もあります。金属弦は強度もあり、ガット弦に比べて安価ですが、音が少し硬い為、今日ではガット弦の柔らかさと、金属弦のような強さのあるナイロン弦(巻き弦)も人気があります。

自分の好みや楽器との相性もあると思いますが、各弦(G線・D線・A線・E線)によって、それぞれ種類の違う弦が使われることもあります。ヴァイオリンの音色は、楽器本体だけでなく、弦の種類や弓の毛の種類でも違いが出てきます。常に細心の注意が必要ですが、繊細で奥が深く、本当に魅力的な楽器だと思います!!

(Chie HINOTSUME)



会 員 の ひ ろ ば

デュオ旭爪姉妹が FM はつかいちに出演しています。姉妹へのインタビューやデュオ旭爪姉妹によるクラシック音楽の紹介など、毎回楽しい話題がいっぱい！是非お聴きください。リクエストやメッセージもお待ちしています。

FM はつかいち 76.1MHz

番組名： Dreamer Dreamer in クラシック

(提供：デリカウイング株式会社)

日 時： 毎月第2・第4火曜日 午後 8:00～9:00 生放送中

応援メッセージ： fm@761.jp または FAX.0829(31)0761



●●●●●応援メッセージ●●●●●

裕美子さん、千恵さんこんにちは。お二人のコンサートに行ったり、FM はつかいちの放送を聞いて、素敵な曲に出会えるのがとても楽しみです。ミニ知識が増えるのも嬉しいですし、お二人のお話を聞いているとホッと心まで温かくなります。これからの放送も楽しみにしていますね。(ラジオネーム:四季が丘3兄弟ママ)



感動は、舞台裏にも

初秋の光の中、空と海の青に沿って延びる明石大橋、その下を行き交う大小の船舟、海峡を望み見る小高い丘の上に建つ宮殿(ピラ)と日本庭園。ここは「秋の調べのコンサート in Kobe」の会場となる「舞子ピラ神戸あじさいホール」です。楽しみにしていた関西でのコンサート、姉妹との久しぶりの対面にいつもと違った緊張感がありました。今日は舞台を支える一員としての大切な役目があります。

マイクのテストや譜面台の出し入れ、マイクや照明のスイッチのタイミング、姉妹の入退場などの進行と受付が私たちの役割です。広島から来られた「友の会」のみなさんや居ないよりはましな程度の大阪の仲間とそれにとっても頼りになるご両親とが、姉妹と一緒に開演までの準備を整えていく様は明らかに高揚感がありました。音を立てず速やかに、舞台の状況を見ながら行なう動作一つ一つに緊張が走ります。満席を予感さす受付の混雑を喜び、開演へ向けてみんなのボルテージは上がってきます。ところが予想を超える立ち見にざわめいて、大急ぎでいくつもの補助椅子を持ち込み、少し遅れての開演。舞台照明のスイッチは私たちの最初の仕事でした。

姉妹の登場、祖父母の思い出の地での開催に感謝を込めながらエルガーの「愛の挨拶」は始まります。聞き覚えのある曲に身を揺らし、小さな覗き窓以外にはひたすら聴覚に頼り、客席の反応に神経を集中させます。1曲毎の大きな拍手に舞台裏は安堵する。終演後のロビーでの多くの去りがたい人たちとの交歓。神戸のお客さんがとても満足されていることに、想いは強くなります。どこの地であっても対峙できる演奏家が広島にいることに深い感慨を覚え、お手伝いできたことを姉妹に感謝せずにはいられませんでした。

旭爪姉妹コンサートにはこんな楽しみ方もあるのです。いかがです？私たちと一緒に。

(東京都 浅原弘之)



デュオ旭爪姉妹、世界文化遺産宮島観光大使に！

デュオ旭爪姉妹が2009年8月より、世界文化遺産宮島観光大使に任命されました。2009年10月17日の「はつかいち音楽祭」では、「デュオ旭爪姉妹コンサート in さくらびあ〜廿日市市(宮島) モン・サン=ミッシェル(仏)観光友好都市提携を記念して〜」も開催されます。これからお二人は観光大使としても、音楽を通して宮島の魅力を世界に伝えていく活動をされることと思います。皆様ぜひ応援してまいりましょう。

私たちの宝、旭爪姉妹

今年5月、廿日市市は、フランスのモン・サン=ミッシェルと観光友好都市提携を結びました。海に浮かぶ世界遺産、信仰の聖地としての1000年を超える歴史、年間300万人以上の観光客が訪れる、国を代表する観光地・・・約1万kmも離れたモン・サン=ミッシェルと廿日市市の宮島に、こんなに共通点があったとは驚きです。

そして、旭爪姉妹が音楽の勉強のため留学されたのもフランス。きっとお二人にとって、フランスは思い出深い、生涯忘れられない国であることと思います。そのようなことから、廿日市市(宮島)とモン・サン=ミッシェルとの観光友好都市提携を記念して開催される10月のコンサートには、お二人の特別な思いが込められているのではないかと推察しています。

私が旭爪姉妹に初めてお目にかかったのは、そのフランス留学から帰国されて間もない頃でした。演奏活動を通じて、地域の方々、中でも子どもたちにクラシック音楽を身近に感じてもらいたいというお二人の熱い思いに、当時、教育委員会に勤務し、子どもたちの教育に携わっていた私は、感謝の気持ちでいっぱいになったのを覚えています。

人生において「出会い」は本当に大切です。お二人のおかげで、素晴らしい音楽との出会いを果たし、音楽とともに歩むことを決めた子どもたちも少なくないことでしょう。

言うまでもないことですが、音楽は、厳しいレッスンを積んだプロの演奏家でも、私のようなもっぱら聴くだけのファンでも、それなりの関わり方や楽しみ方があり、人それぞれです。共通しているのは、音楽によって心が満たされ、人生がより豊かになるということではないでしょうか。ホールや学校、病院、市民センターなど様々なステージで、様々な聴き手のために演奏し、みんなで音楽の素晴らしさを共有する時間を与えてくださるお二人に、私は心から敬愛の念を抱いています。

そして、このような地域に根ざした心温まる演奏活動が、旭爪姉妹が多くの人々の宝として愛され続けることにつながっているのだと思います。

この度お二人は、世界文化遺産宮島の観光大使をお引き受けくださいました。観光には、訪れてくださるお客様への感謝やもてなしの気持ちが欠かせません。ふるさと廿日市市を愛し、常に周りの方々への心遣いや感謝の気持ちを忘れない旭爪姉妹。また、清楚で愛らしく、現れるとパッと花が咲いたような優雅な雰囲気が漂って、たくさんの人々を惹きつけるお二人に、安心して本市の観光大使をお任せしたいと思っています。

(廿日市市環境産業部観光課 課長 立花英美)

※Bonjour!第4号では、中国新聞「今、そこにあるチャンス」を連載されるなど、大変な文筆家でいらっしゃいます。廿日市市商工会議所の細川会頭様にご寄稿いただきました。有難うございました。

音楽と女性

子供の頃から、疑問に思っていることがある。
学校での教科に、「数学」「化学」「地学」などに交じて、「音楽」があった。
何故、音楽だけが「音学」でなく、「音楽」何だろう…。

*

つい先日、六十二歳の誕生日を迎えた。
悪戦苦闘しながらも、好き勝手に思う存分に生きてきた自負がある。それでも、なお人生に多くの悔いがある。その一つが「音楽」。

阿久悠が作詞し、西田敏行が歌った、「もしもピアノが弾けたなら」ではないが、せめてギターが弾けたなら・・・せめてウクレレが弾けたなら・・・「アアアアア アアアア アアアア」である。

習得するチャンスは人並みにあったけれど、生来の横着が邪魔をして、不本意ながらカスタネットがやつとの実状。今では後悔の念を超え、コンプレックスと呼べる域にまで達している。

その反動か、元来シャイで人見知りの激しい私が、音楽に精通した女性に対しては、ことさらに気後れしてしまう傾向がある。

*

さて、旭爪姉妹である。
姉妹が音楽に秀でていることは、言を俟たない。まさに卓越した音楽家の才媛姉妹である。例えば映画を観たあと、幾つかの台詞は覚えているが、背景に流れる音楽には無頓着な私だけけれど、旭爪姉妹のピアノとヴァイオリンの二重奏を聴く時、自然に体中が耳になる。そして静謐で嫺やかな音が優しく体に沁みてくる。

*

その瞬間、私の疑問は氷解する。
やはり「音学」ではなくて、「音楽」である。
きっと旭爪姉妹は、ピアノやヴァイオリンの演奏を教養やスキルとしてではなく、人生そのものとして楽しみ、昇華させておられるのだろう。加えて、お二人が醸し出されている楚々とした雰囲気は、私の女性への気後れをも忘れさせてくれる。何とも不可思議な魅力を秘めた姉妹である。



(デリカウイング株式会社 代表取締役 細川匡)

私たちがデュオ旭爪姉妹を応援しています。

アマノ リハビリテーション病院 **あまのクリニック**
 TEL.0829-37-0800 TEL.0829-31-5151
 回復期リハビリテーション病棟 通所リハビリテーション
 児童デイサービス おひさま 重度認知症患者デイケア
 訪問看護・訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所

内科 / リハビリテーション科 / 循環器科
皮膚科 / 心療内科 / 神経科 / 放射線科

お土産に、ご贈答に・・・
 全業博名誉総裁賞受賞

安芸銘菓 **桐葉菓** 広島名物 **もみじ饅頭**
チョコ・抹茶・つぶあん・クリーム・チーズクリーム

やまだ屋

本店 / 廿日市市宮島町 835-1 ☎(0829)44-0037
 大野支店 / 廿日市市沖塩屋 1-9-16 ☎(0829)55-0001

NPO 法人日本ケニア協会
 フェアトレード商品取扱い
 ○ケニア紅茶
 ○ケニアコーヒー
 ○ケニアマカダミアナッツ ほか

下記 URL よりご注文できます。
<http://www.labotec.co.jp/kenya/order/>
ラボテック株式会社
 広島市佐伯区五日市中央 6 丁目 9-25
 TEL.082-921-5531 FAX 082-921-5532

なから

四季折々の材料
 豊富に揃えて・・・
 業務用新鮮野菜
 食品卸・加工から惣菜製造まで
<http://www.hiroshima-nakamura.co.jp/>
 広島市西区商工センター 5-9-5
 ☎(082)501-2501

有限会社 後藤ふれあい薬局
 広島市西区草津新町 2 丁目 8-13
 ☎(082)279-5282

有限会社 大方塗装
 廿日市市原 526-6
 TEL.(0829)37-4727
 FAX.(0829)37-4728

SEBIROYA 広島市中区本通り 1-19
 ☎(082)247-1585

黒の森 廿日市市新宮 2 丁目 14-14
 ☎(0829)32-6614

増井運送(有) 広島市西区己斐上 2 丁目 6-2
 ☎(082)271-3564

コンディトライ・フェルダーシェフ
 廿日市市上平良 220-2 ☎(0829)37-2760